



イルコボンド 8

厚膜型リン酸亜鉛皮膜



株式会社アイコー

<特長>

- ◇ 鉄鋼表面に浸漬法で 10~28g/m² の結晶性リン酸亜鉛皮膜を生成します。
- ◇ 一液性のため建浴や管理が簡単です。
- ◇ イルコボンド 8 処理後に、防錆油（ラスタレスト 85）を併用すると更に耐食性が向上します。

<使用方法>

	範囲	標準
イルコボンド 8 濃度	20~40mL/L	30mL/L
温度	70~90℃	—
時間	10~15 分	—

処理槽：ステンレス槽など

- * 建浴する際は、タンクに水道水を満たして 50℃程度に加熱し、所定量のイルコボンド 8 を添加した後、処理温度まで上昇させます。

<処理工程>

- ◇ 工程例



<管理方法>

- ◇ 全酸度
 - * 30~45 ポイントが標準です。
 - * 1mL/L のイルコボンド 8 は全酸度を 1~1.2 ポイント上昇させます。
- ◇ 酸比
 - * 全酸度/遊離酸度 = 6~9 が標準です。
- ◇ 鉄
 - * 0.5~3.0 ポイントが標準です。
 - * 建浴時の仕上がりがムラになるときは、鉄を 0.5 ポイント以上にすると改善します。

◇分析方法

- 全酸度
1. イルコボンド 8 処理液 10mL を 200mL ビーカーに採取する。
 2. フェノールフタレイン指示薬を 4～5 滴加える。
 3. 0.1N-苛性ソーダ溶液でピンク色になるまで滴定する。
全酸度ポイント数=0.1N-苛性ソーダ溶液滴定量
- 遊離酸度
1. イルコボンド 8 処理液 10mL を 200mL ビーカーに採取する。
 2. ブロムフェノールブルー指示薬を 4～5 滴加える。
 3. 0.1N-苛性ソーダ溶液で黄色から青色になるまで滴定する。
遊離酸度ポイント数=0.1N-苛性ソーダ溶液滴定量
- 鉄
1. イルコボンド 8 処理液 10mL を 200mL ビーカーに採取する。
 2. 指示薬（98%硫酸：85%リン酸=1：1）を 10～12 滴加える。
 3. 0.2N-過マンガン酸カリウム溶液でピンク色になるまで滴定する。
鉄ポイント数=0.2N-過マンガン酸カリウム溶液滴定量

<性状>

外観 : 淡緑色液体
比重 : 1.59～1.63

<注意事項>

イルコボンド 8 は酸性溶液のため、取扱いに注意してください。
取扱いの際は保護具を着用してください。
眼に入れたりしないように注意してください。万一、眼や皮膚に付着した場合は多量の水で洗い流し、医師の手当を受けてください。
その他、安全データシートをよく読んでから使用してください。

<荷姿>

14kg BIB 容器



株式会社アイコー

<http://www.aikoh-japan.com>

本 社 〒335-0033 埼玉県戸田市笹目北町13番地23
TEL: 048-421-8600 FAX: 048-485-8612
大 阪 営 業 所 〒581-0061 大阪府八尾市春日町3丁目2番10号B
TEL: 090-6915-1888 FAX: 072-920-7999
TEL: 090-1406-2068